

2 10大費目指数の動き

各費目の動きを前年比で見ると、食料は肉類の値上がりなどにより1.3%上昇、光熱・水道は電気代の値上がりなどにより2.9%の上昇、家具・家事用品は家庭用耐久財の値上がりなどにより0.4%の上昇、被服及び履物は衣料の値上がりなどにより0.3%上昇、保健医療は保健医療サービスの値上がりなどにより0.9%の上昇、交通・通信は、自動車等関係費の値上がりなどにより1.7%の上昇、教養娯楽は教養娯楽サービスの値上がりなどにより0.6%の上昇、諸雑費は理美容用品の値上がりなどにより0.6%上昇した。また、住居は設備修繕・維持の上昇があったものの、家賃の下落により、前年と同水準になり、教育は教科書・学習参考教材及び補習教育の上昇があったものの、指数としては前年と同じ水準となった。

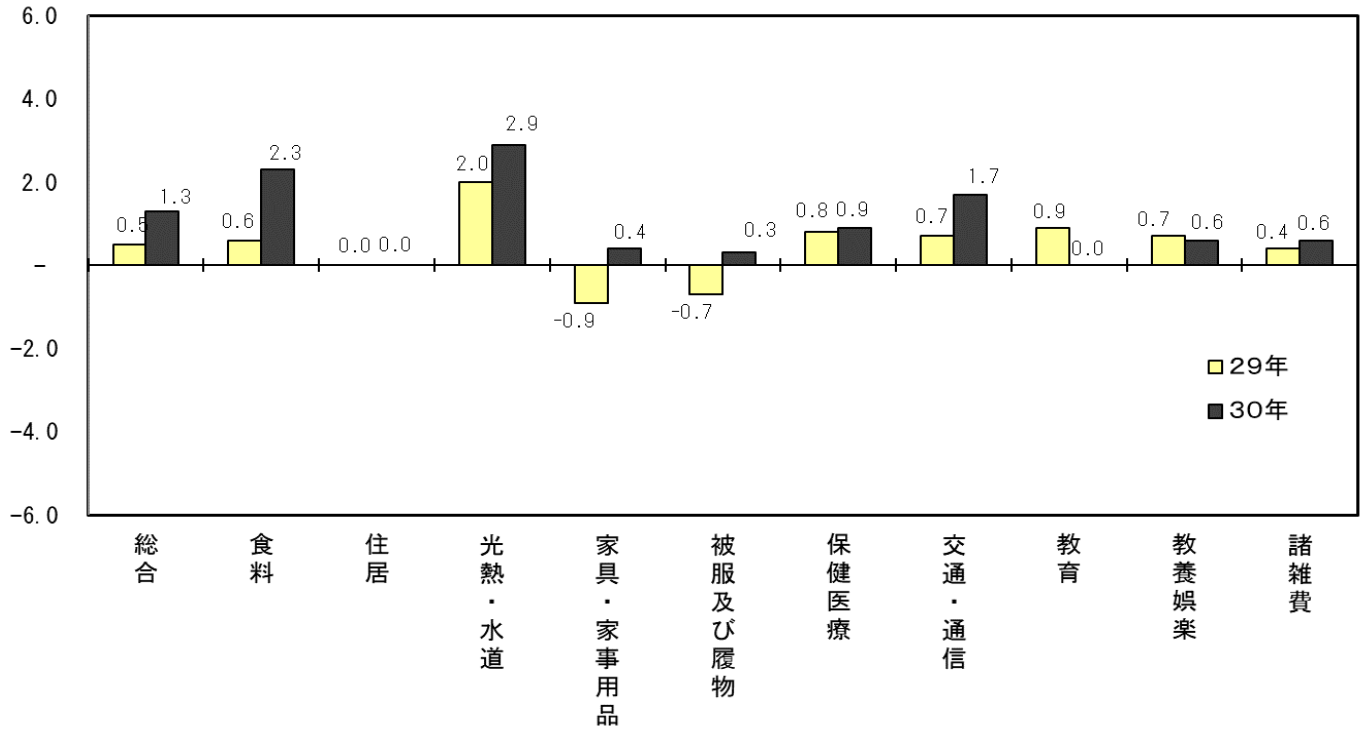
10第費目指数	前年比(%)		寄与度	
	29年	30年	29年	30年
総 合	0.5	1.3		
食 料	0.6	2.3	0.16	0.60
住 居	0.0	0.0	-0.01	0.00
光 熱 ・ 水 道	2.0	2.9	0.13	0.20
家具・家事用品	-0.9	0.4	-0.03	0.02
被服及び履物	-0.7	0.3	-0.03	0.01
保 健 医 療	0.8	0.9	0.03	0.04
交 通 ・ 通 信	0.7	1.7	0.12	0.30
教 育	0.9	0.0	0.02	0.00
教 養 娯 楽	0.7	0.6	0.07	0.06
諸 雑 費	0.4	0.6	0.03	0.04

※寄与度について

寄与度とは、ある品目又は類の指数の変動が、総合指数の変化率にどの程度寄与したかを示したものであり、計算式は次のとおりである。

$$\text{寄与度} = \frac{(\text{当期の指数} - \text{前期の指数}) \times \frac{\text{当該項目のウエイト}}{\text{総合のウエイト}}}{\text{前期の総合指数}} \times 100$$

費目別前年比



費目別寄与度

